

市立病院の建て替えについて

質問 市立病院の建て替えについては、市民や議会の中に、本市の財政に負担を残さないのかという疑問があるのも確かである。
 そうした財政的な問題も考慮した上で、市民が望む新病院の基本方針について、どのように考えているのか。

答弁…市立病院事務局長

新病院建設における主な基本方針は、

①地域中核病院として救急医療、急性期医療に対応し、市民の生命を守り、市民の安心・安全・健康な生活の維持に貢献すること。

②市民が安心して受診できる病院として、市民の幅広い医療ニーズに対応すること。

③将来の医療制度改革への対応や高度医療を継続して実践できる医療環境を創成すること。

④公立病院として、高度医療・検査機能の実践、また、市民から必要とされる小児・産科、脳神経外科等の医療に取り組むこと。

⑤市外への流出が多い脳卒中、循環器疾患等の医療ニーズに対応すること。
 などとしています。

財政面については、市立病院基本構想・基本計画において、新病院の総事業費を約63億円としています。その資金調達計画としては、病院事業債で約58億円とし、起債の対象とならない既存病院の解体撤去工事費・外溝工事費など約5億円を自己資金としています。

なお、国や県の交付金・補助金は、現在のところ不確定のため、計算に算入していません。

携帯電話用ホームページの作成について

質問 携帯電話の利用者は、今後さらに増加すると予想され、その利用頻度は計り知れないものがある。そういった中で、企業はもちろん地方自治体においても、携帯電話用ホームページを作成しているところは多い。

それほど多額の費用もかからないことから、是非とも作成すべきと考えるが、市の見解は。

答弁…総務部長

本市の公式ホームページは、平成9年に開設し、市民へさまざまな情報提供を行うとともに、市民と市役所の重要なコミュニケーションツールとして活用してきました。

携帯電話用ホームページについては、県内では香川県、高松市、丸亀市等で作成しており、観光・イベント・防災などの情報を提供しています。

近年では、パソコン用のホームページを閲覧できるフルブラウザ対応の携帯電話が普及しつつあります。また、料金体系でもパケット定額制が提供されるなど、携帯電話とパソコンの垣根がなくなりつつあります。

今後、広報誌やホームページ等を通じた市民への情報提供に積極的に取り組みながら、携帯電話用ホームページの作成についても、前向きに検討していきます。



違法ケシの種子飛散による自然繁殖の防止について

質問 市内松山地区の2カ所において、法律で禁止されているケシが本人の知らないうちに繁殖していることが、市民からの通報で分かった。市保健課と県中讃保健所で76株の違法ケシ(アツミゲシ)を適正に処理したが、2カ所とも、本人は違法ケシであることを全く知らなかった。

また、市内で確認された違法ケシは、平成21年が約4100株、平成22年が約7900株であり、ほぼ全てについて、本人に違法性の認識がなかった。

栽培が禁止されているケシについて、市民への周知を徹底すべきではないか。



アツミゲシ

答弁…市民部長

市民への啓発活動としては、市町等の関係団体で組織している薬物乱用防止対策連絡協議会や、麻薬・覚醒剤・シンナー禍対策推進員の方々が主体となつて、麻薬乱用撲滅キャンペーンを実施しています。また、市庁舎や出張所においても、ポスターの掲示やパンフレットの配布等を行っています。さらに、毎年4月1日から5月31日まで「不正大麻・ケシ撲滅運動」が実施されており、各地域での啓発活動やケシ発見の巡回活動等が進められています。